

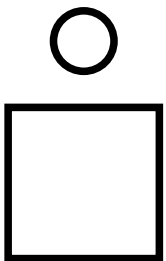
- 1) 問題文を読ませ、左の図形の説明文を書かせる。問題の意図が飲み込みにくい場合はフラ。
- 2) 図を折り返し、子どもが書いた説明の範囲で、なるべく異なる図形を描いてみせる。
- 3) 説明文の手直しをして、完成させる。

- a) 説明のための描写と伝達の文作り。
- b) 自分の言葉を対象化してみる(客観的に評価する)体験。

特定用具: 不要

Date:

したのえを
ことばで書いて、
せつめいしよう。



せんせいが
それをよんで
えにかきます。